

御蔵島村 議会だより

編集・発行

御蔵島村議会
「議会だより」編集委員会
TEL8-2121
FAX8-2239



都知事表敬訪問（議長）

掲載記事.....

- 1 議長頭文
- 2 第4回定例会について
 - 1) 議決事項
 - 2) 一般質問
 - 3) 主な質疑
- 3 議会予定等

平成23年 1月28日

頭 文

議長 栗本 道雄

村民の皆様、西風が吹き御蔵島らしい冬の陽気が続いています、いかがお過ごしでしょうか。年末年始と天候不良で、定期船と貨物船の欠航が続き毎年ですが東京からの物資や島の産物の物流が止まり、また島民の出島や帰島にも大きな影響が出ました。村ではヘリコプターの運賃助成を行っていますが引き続きこの助成制度は必要と考え継続を求めています。

根本的には港湾の整備を引き続き行うしかありませんが、貨物船の運航形態の再検討は必要と感じています。

10月下旬には利島村への御蔵島村議会による行政視察を行い、11月下旬には青ヶ島村議会議員の御蔵島への行政視察も行われました。

前にも述べましたが、御蔵島村は1次産業が遅れています。農業や漁業の振興と島の特産品の開発が必要と感じています。

御蔵島を含む全国の離島は今後更に厳しい財政状況が続くと予想されます。一括交付金のように「紐付き」ではない予算の交付は見た目には良さそうですが、単に人口割りで交付金の額が決定されると大変困ります。地域の実情にあった交付金制度を都や国につくって頂ければなりません。

12月には島しょ議長の有志により、石原都知事への表敬訪問を行いました。東京都版エコツーリズム実施のお礼や、今後も引き続き島しょ地域に対しての東京都としての支援を強くお願いしてまいりました。

寒さはもうしばらく続く時期ですが、今後も議員1人1人真剣に村の将来を考えて行動して行きたいと思っておりますので、何かありましたら遠慮なく各議員にお知らせください。

平成22年第4回定例会 議決事項

平成22年第4回定例村議会が、12月14日（火）から開会され、22年度補正予算1件、条例3件、その他1件、を議決しました。議決された議案は、次の通りです。

〔補正予算〕平成22年度

（単位：千円）

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計（3回）	1,011,723	775	1,012,498

〔条例〕

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
承認第1号	御蔵島村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成22年12月14日	原案可決
議案第1号	御蔵島村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	平成22年12月14日	原案可決
議案第2号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	平成22年12月14日	原案可決

〔その他〕

- 議案第4号 御蔵島村第三次基本構想の策定について

一般質問

広瀬豊彦 議員

赤沢地区土地改良事業について

【質問】 赤沢地区は農業改良事業が完了していると考えますが、その後の計画は実現されているでしょうか。

【回答】 産業課長補佐 現在、契約の手続をとる

事務作業を進めているところです。1月から運用をするような形をとっていききたいと考えております。1回刈ったわけですが、雑草等がまた伸びてしまっているところもございませう。その部分につきましては、村のほうで除草を行うということを進めております。今後の赤沢の使用につきましては、基本的にはアシタバを主に、ほかのものをつくりたいということであれば、それは土地の50%まではほかの作物でもいいのではないかとということを進めたいと思います。今年度から来年の秋までは自由に何でもつくるような形をとって構わないというふうに考えております。使用料につきましては、今年度分については無償という形で進めたいというふうに考えております。その分の地権者に対する使用料については、村のほうを負担するというところで考えております。

【質問】 借地料は村が、使用料は団体、個人から取るのか。

【回答】 産業課長補佐 地権者からは村が借りる、

それでそれをまた村が希望者に貸し渡すという形にする。1平米につき年間20円を地権者に支払う。利用者の負担は、1平米につき10円負担していただく。残りの10円については村が負担するという形で計画しております。

【質問】 貸し出し年数というのは限定されていますか。

【回答】 産業課長補佐 基本的には5年間というところで考えております。

【意見】 5年間という、もう既に1年、2年たっている。できるだけ早く募集要項等を住民に知らせることによって開発などもできるわけですから、ここから種をまいて1年間、成長するのに2年待たなければと、もう既に終わってしまうということのないようお願いしたい。

島分地区のハウスについて

【質問】 島分地区のハウス用に農業用水施設ができると思いますが、ハウスの利用計画はどうなっていますでしょうか。

【回答】 産業課長補佐 夏季において水が足りなくなるということがございまして、その水が足りなくなるのを防ぐということ、タンクの交換を計画しております。今後のハウスの事業計画、利用方法につきましては、今、村と島しょ農業総合センターの協力で、試験的にシマテンナンショウの種を植えて、今

後の栽培方法や増殖方法に関する調査的なものを実施しております。シマテンナンショウにつきましては、今後利用方法を考え、商品化の計画を考え実施するような形をとりたいというふうにご考えております。

【質問】 青ヶ島に視察に行ったときに、防風網を利用したハウスがあった。島にあるハウスはガラス張りのハウスで、温度管理とか整っていない。そういうことで、ひとつ防風網のハウスをつくることによって、風を遮って自然の環境の中で何か栽培をするという方法についてはいかがでしょうか。

【回答】 産業課長補佐 うちのほうでは計画に入っていないものでございますが、今ある施設につきましては、ある施設ですので、それは利用したいというふうには考えております。防風網ハウスの研究という部分であれば、また改めてそういうものがつくれるような計画ができればと考えてます。

【意見】 防風網で大型じゃなくても、小型でもテーストケースみたいな形でやってみることによって、次の段階が考えられると思いますので、是非ひとつ実現できるような形で考えていただきたい。

樹木粉砕機について

【質問】 樹木粉砕機が購入されていますが、既に働いていますか。利用計画等について説明をお願いします。

【回答】 産業課長補佐 村のほうの周知不足ということ、現在まだ何も活用していない状況でございます。樹木粉碎機、堆肥舎施設も含めまして、イナサハウス事業計画等もつくる中において、利用するような形を取り入れていきたいと考えております。伐採木や例えばシイタケのほだ木等についてもチップ化することは可能でございます。それを例えば堆肥化して畑に還元するというふうな形で進めていきたいと考えております

【意見】 利用の仕方、個人が運んでいくのか、だれか村からついていくのか、そういうのもあわせて周知徹底を図っていただきたいということ、お願いします。

広瀬元議員

産業センターについて

【質問】 産業センターの民間への委託は考えられているでしょうか。

【回答】 総務課長補佐 これは従来からの懸案でございますが、民間委託を受けてくださるようなところがあれば、当然、民間委託のほうは実施したいというふうな考えっております。

【意見】 島のすぐれた民間に委託して活性化を図り、基本構想で500人構想がありますね。職場の充実を図るために、ぜひ民間に委託して活性化を図っていただきたいと思っております。

保育士の増員等について

【質問】 保育士の増員について聞きたいのですが、今のところ計画はあるでしょうか。

【回答】 総務課長補佐 入所者数の現状ですとかを踏まえての検討になるのかと思っております。けれども、現場の職員、保育士等も含めまして、やはり村の職員として定数の部分で考えなければならぬ部分がございます。したがって、現状においては、保育士の正職員としての増員という意味では、極めて困難と言わざるを得ないかと思っております。ただ、状況の変化によっては、臨時職員等、いわゆる定数外職員での対応というのは検討する余地があるかと思っております。

【意見】 現状を見て、保育士が1人欠員の時2人で見ている。散歩とかそういうときに大変危険なような感じが見える。臨時職員であっても、そのときは臨時的に3人体制にするとか、ぜひお願いしたいと思っております。

【質問】 延長保育とかあと1歳児からの保育とかは考えられていないでしょうか。

【回答】 民生係主任 昨年度、保育園の保護者の方から延長保育をしていただきたいという要望をいただいております。延長保育するに当たって、事務レベルで今検討、精査している最中でございます。今年度末にはある程度方向性をつけて、村長の意思としてご報告できるかと思っております。

【意見】 そういう方向では是非お願いしたいと思っております。

南郷山荘について

【質問】 南郷山荘の現状はどうなっているのでしょうか。

【回答】 村長 8月に弟さんとお話ししまして、現状では購入していただきたいという話を伺っております。しかし、買うということになると、我々のほうも高価な金額で買うということとはちょっとできない。もう何回か折衝ということ、私のほうで連絡をとって、できれば3月ぐらいまでには全部買うのか、それとも交渉を断念するのか、そういった結論を出していきたいと思っております。

黒田正道議員

御蔵会館について

【意見】 是非購入して、自然観察センターとして利用していただきたいと思う。

【質問】 前議会で御蔵会館のことについて問い合わせをし、この12月の本議会では回答できるようなことをいただいていたので、その回答をいただきたい。

【回答】 総務係長 8月に1回目の調査を行いました。結果のほうを皆さんにお知らせしたと思っております。なかなかあれだけの調査でこれからの存続について判断するのはちょっと難しいと考えましたので、もう一度住民に対して調査を。今週中にお配りして、会館の

うなことも考えられると思うがその点についてはいかがですか。

産業課長補佐 実際に今現在、耕作しているところについては、土地を造成する前に既に貸しているという方も実際にございます。自分の土地を耕作されている方も、この計画の中には入れないという部分もございます。今回実施するのは、新しくその土地以外の部分で契約を進めていく。その団体等の中でそういうメンバーが入っているという想定は今までしてございません。

長谷川久雄議員 業者が伐採したというところを久しぶりに行って見てきた。例えば私が借りて、あそこを開拓しようと思つたら、1カ月やそこらじゃ私1人ではできないくらい雑草雑木が生えていて困難だと思う。今実際につくっているアシタバの生産者の畑を見ると、かなりの日差しが差し込んでいるところがほとんど。日が差さないとところのアシタバというのは、生育がすごく悪い。もしアシタバの生産を効率よくするというふうになると、今の立ち木まで切らせてもらわないと、生産が上がりません。例えば5年なら5年やってみて成果が上がるようだったらその成果を貸した人からお金を取って貸し出してもいい。初めからお金ありきでやるというのはいかがかと思う。

村長 イナサの育苗ハウスに、いただいたミニコンボがある。農地を開発するとか、ツゲを植えるために利用してくれたらということでは

ただいたもので、私は一時的に赤沢を開墾するために持ち込んで、燃料だけ入れれば無料で使えるという。それは搬出用のモノレールもそういうふうにして今置いてあるわけですから、そういう形で動かしていく。アシタバの栽培、もしくはほかの作物の栽培をすればいいんじゃないかと。それをやるためには、どうしても入りやすくするために、村がある程度下草を刈って、それで整えてやることだろうと。土地の使用料は、ほかの条例の中には村長が免除規定を設けていますので、免除規定を設けて、それで当面はその免除をするという形のものでやる方法もあるのではないかと。そういうふうには思っています。

広瀬豊彦議員 私も実態は余りわからないけれども、何とか物にしたいというのは、議員も思いは多分一緒。行政のほうも何とかしたいというふうな酌み取れる。私のほうから見れば甘いかなという気がしますが。あそこを何とか成功させなければ、この島も農業に関しては厳しい。ぜひ成功させる方法を築いていただきたい。

村長 現在、海のイルカはもうある程度目撃がついている。御蔵の産物は何が出ていますかというところ、一次産業の部分でいくと、農業についてはほとんどゼロに等しい。皆さんが言っているように、この赤沢の部分のアシタバを何とかしたい。使用料を取って云々よりも、そこで何人かの人だけでもアシタバを出荷していただきたい。今やっていたいっているのは、

2人から3人の人たちがアシタバを生産して、それで何とか出している。しかし、それ以外については何も出てきていない。グループ的に5人、6人というグループの人たちが、核になってやっていくのが一番いいかなというふうには思っています。そのために、重機を持っていったって、なるべく労力が余りかからないような方式にしていかなければいけない。ミニコンボを使うのもそうですし、今モノレールについては無償でやっていますから、みんな軽微でなるべく負担の少ないようなやり方をして協力していきたい。皆さんと、生産者と一緒に村もやらないといけません。

南郷山荘について

長谷川久雄議員 南郷山荘の建物を買ってほしいという相手側からの要望があったという話ですが、その土地を買った時点でその建物が浮いていた。村の土地なのに、その村の土地を利用して商売をいつときして、そのお金は上げているのに、一回もその地代ももらわないで建物をほうっておくというのは、村として損失では。

村長 それは好ましくないという話をして。それ以後、あそこを今使っていない。人は通つて中には入っていくけれども、遺族の方たちが行って使うということは今ないと、私はそういうふうには理解しています。土地を売買した

ときの部分で、一切そこには触れていなかった。全部取り壊してしまっても構わない。幾らかのお金でもいいから買って、そこを有効利用するというのも一つの方法かなというふうには思います。何百万もかけて購入するということはあるに得ない。その辺をこれから交渉していく。

長谷川久雄議員 その契約をした時点で、あの家がどういふ過去の歴史を持っているかわかりませんが、一目見た限りでは財産に値しませんけれど、一目見た限りでは財産に値しない。どつちかといえば壊す手間賃まで差引いて契約するのが本当は筋じゃないかと思う。発電機と水の設備等を捨てるなら、それを例えば引き取ってという程度だったら話はわかるけれども、改めて公金を出すというのはいかがなものかと思う。相手の立場もあるでしょうから、その辺を考慮しつつ、村民の損にならないような方法で解決していただければと思います。

その他質疑

・第42回東京都民俗芸能大会

広瀬豊彦議員 歌と踊りの舞台発表とは。

教育長 夏が終わってから、東京都の島嶼地区に伝わる文化芸能を発表するという催しが東京都で計画されておりました。無形文化財に指定されているというようなことで、御蔵島は特に強く指名されてきた。2月12、13日

の2日間、東京江戸博物館のホールで発表するというところで、東京都も予算が厳しく、5人程度ということだったので、村のほうで募集をかけて計画をしたところ、5人で歌い手と踊りと輪になってということではなかなか厳しいということ、9人程度まで人を手当てして、それで発表したらどうだろうということ、現在進めております。

広瀬豊彦議員 島を宣伝するという意味でもやはりプラスになると思います。ぜひこういう機会があれば、どんどん島外に出て、宣伝活動を兼ねた活動を計画していただきたい。

・小中学校教室の規模（人数）

広瀬豊彦議員 今年度に生まれる子供たちが10名という話が出ている。学校施設についてはそれだけ入れる施設になっていますか。

教育長 建築当時500人構想に基づいてつくられ、1教室当たり10名は可能ということ、建設してございます。

・カシノナガキクイムシ

黒田正道議員 カシナガは予算が大幅に削られています。この説明をお願いします。

産業課長補佐 9月の議会において東京都の予算確保ができたということで、予算化させていたいただきましたが、現在、東京都と三宅、御蔵、八丈ということで協議会を立ち上げて、どういふ対策方法がいいのかということ、話を進めているが、都と国のほうの補助対象になるような事

業において、効果が薄いのではないかとということ、指摘されまして、今年度の事業につきましては見送りということでございます。実際に今年度考えていたのは、木にカシナガブロックという水性ボンドのようなものを吹きつけて、虫が入りできないようにするというものですが、その効果が怪しまれるということで、見送りにさせていただきます。それと、ナラとかミズナラ等に関しましては、下から3メートルぐらいまでしかカシナガというのは入らないということらしいのですが、シイノキに関してはもう木のてっぺんまで入っているという部分がございます。それも含めて、今年度の事業については見送らせていただいたということです。今月の20日に対策委員会がございますので、その中において来年度以降の方向もある程度示されるのではないかと、また改めて実施するような形をとりたいというふうにご考えております。

(カシノナガキクイムシについて)

昨年から日本全国で問題となっているキクイムシの一種です。一般的にはナラ枯れといった言葉が使われていますが、御蔵島においてはスタジイが被害にあっています。今後の対策の参考にするため1月13日にカシノナガキクイムシ対策の先進地である京都府に村長、担当職員と共に議長他3名の議員で視察に行ってきました。

活動報告

栗本道雄議長

十一月一日 ・ 島嶼議長会臨時総会・東京
都町村議会議長会役員会、

十一月十六日 ・ 臨時総会・北京市区交流会
・ 全国離島振興市町村議長全

国大会

十一月十七日 ・ 第54回町村議長会全国大
会

十一月十八・十九日・東京都町村議会議長会

役員会、臨時総会、現地研

修会

十二月三日 ・ 石原都知事表敬訪問

十二月二十四日・離島振興関係国家予算対策

運動

広瀬豊彦議員

十月六・七日 ・ 町村監査功労者表彰式

・ 町村監査委員全国研修会

全議員

十月二十六日・利島村行政視察

十二月十日 ・ 全員協議会

その他

十一月二十五・二十六日 青ヶ島議員団来島

定例議会予定

平成23年第一回定例議会

平成23年 3月10日(木) 予定